

司法 アクセス学会

第14回学術大会

日時：2020年11月28日(土)

午後1時～午後5時

オンライン開催

参加申込みの後、ZoomのURLをお知らせします
(申込み方法については下記をご覧ください)

オンラインADRのチャレンジ コロナウイルス・パンデミックを踏み台にして

※企画趣旨は裏面をご覧ください。

I. 基調講演

講演者①：平田 勇人 氏 (朝日大学法学部教授)

「ODRにおけるマルチモーダル情報の活用」

講演者②：農端 康輔 氏 (弁護士・神楽坂キーストーン法律事務所)

「日本におけるODRの現在

——弁護士会ADRのIT活用を中心に(仮)」

II. パネル・ディスカッション

パネリスト

- ・基調講演者〔平田勇人氏・農端康輔氏〕
- ・安藤 信明 氏 (司法書士・調布みなみ司法書士事務所)
- ・田後 隆二 氏 (行政書士・日本行政書士会連合会専務理事)

参加申込み受付／お問い合わせ先

司法アクセス学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

《学会員以外の方もご参加いただけます》

E-mail: jaajoffice@gmail.com

東京大学社会科学研究所 飯田高研究室内

参加をご希望の方は、お名前・ご所属・ご連絡先を明記のうえ、上記アドレス宛にお申込みください。

または、裏面の参加申込書にご記入のうえ、FAXで送信してください。いずれかの方法でかまいません。

司法アクセス学会

第14回学術大会

第14回学術大会テーマ:

「オンラインADRのチャレンジ:

コロナウイルス・パンデミックを踏み台にして」

〔企画趣旨〕

コロナ・パンデミックにより、対面での手続きを当然の前提として組み立てられている裁判手続きにもADR手続きにも大きな支障が出ている。この100年に一度の危機を司法アクセス改善のためのチャンスに変える必要があるとともに、現実にもそのような動きが始まっている。

これは紛争解決に限られたことではない。なぜ毎日満員電車でぎゅうぎゅう詰めになって同じ時間帯に同じ場所に集まって仕事をしなければならないのか。毎日集まる必要がない仕事や、そもそも集まる必要のない仕事大量に存在していたことが、テレワークによって今更ながら再認識されつつある。ここでは、仕事のあり方が問い直されている。

また、学校教育、とりわけ高等教育もそうである。大教室での一方的授業のために通学して集まって教室で寝るだけよりも、オンライン授業の方が便利である。オンデマンド授業であれば、都合の良い時間帯に計画的に視聴できるし、繰り返しや途中停止も可能である。ここでは、教育のあり方が問い直されている。

生活と仕事の様々な面で、このような根本的な問い直しが意識的になされることは人類史上でも稀なことに数えられよう。

この同じ問い直しが司法アクセスにも紛争解決にも生じている。なぜ時間と費用をかけて裁判所に集まらなければならないのか。なぜ時間と費用をかけてADR機関に集まらなければならないのか。ここでは手続的正義にまで立ち帰って紛争解決のあり方が問い直されている。

今年度の学術大会では、紛争解決のオンライン化の可能性と限界とを理論面および実務面から考え直し、対面とオンラインの最適なミクスチャーを探ることにしたい。

参加申込書

メールで jaajoffice@gmail.com 宛にご連絡いただいても差し支えございません。

FAX: 03-5841-3159

※切り取らずこのままFAXしてください。

第14回学術大会に 参加します

〔お名前〕

〔ご所属〕

〔ご連絡先〕

TEL :

E-mail :